

安全報告書



2009

伊勢鉄道株式会社

1 お客様はじめ地元の皆様へ

何時も伊勢線をご利用戴くとともに、当社の業務運営にご理解・ご支援を賜り、誠に有難う御座います。

当社は、2008年7月、中部運輸局より、事業者が安全管理体制を確実に構築し、適切に維持されているかを確認する「運輸安全マネジメント評価」を受け、会社としての安全確保への取組みについて一定の評価を戴きました。一方、「更なる取組みを期待する」として、内部監査の仕組みの構築及びそれを活用した管理体制の見直し等について助言を戴き、速やかに関係規程を整備し、11月に内部監査を実施しました。今後、毎年実施し、当社の安全推進体制が確実に機能しているかを確認してまいります。

本年は、3年振りに鈴鹿で「F1日本グランプリ」が開催されることとなり、全国から多くの観戦のお客様がお見えになります。今後とも伊勢鉄道が「安全で安心できる鉄道」として多くのお客様にご利用戴けますよう全社員が一丸となって努力を続けて参ります。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について自ら振り返るとともに、広くご理解戴く為に2007年度から公表しております。皆様からの声を輸送の安全に役立てたく、積極的なご意見を頂ければ幸いです。

伊勢鉄道株式会社
代表取締役社長 森井修治

2 基本方針と安全目標

(1)基本方針

安全輸送の確保は経営の根幹であり、「安全基本方針」を次のように掲げ、社長以下全社員に周知・徹底しております。

- ①全社員一丸となって輸送の安全の確保に努める。
- ②輸送の安全に関する法令及び関連する規程を遵守し、厳正なる業務執行に徹する。
- ③確認の励行に徹し、疑わしい時は最も安全と思われる取扱を行う。
- ④事故・災害等が発生した時は、列車防護、人命救助を最優先に行動し、情報連絡を確実に行う。
- ⑤常に問題意識をもち、必要な変革を行う。

(2)安全目標

当社では「伊勢鉄道輸送安全目標」を以下のとおり定め、安全安定輸送の完遂に日々取り組んでおります。2008年度は定量的な目標はクリアし、基本動作の確実な実施や教育・訓練の充実等、全社員の安全意識の更なる向上に努めております。

(2006年度～2010年度)

区 分	項 目	内 容
定量的な目標	列車事故 (衝突・脱線・火災)	乗客の死傷を伴う事故を 5年間発生させない。
	人身障害事故	5年間、発生させない。
	インシデント	5年間、発生させない。
定性的な目標	基本動作の確実な実施と 事故防止意欲の向上	



3 事故等の発生状況と再発防止措置〈2008年度〉

(1)鉄道運転事故(「鉄道事故等報告規則」に規定する事故)

鉄道運転事故の発生はありませんでした。

今後とも引き続き発生防止に全力で取り組んでまいります。

(2)自然災害

自然災害の発生はありませんでした。



(3)輸送障害(30分以上の遅延や運休)

2008年9月5日早朝、急激な降雨により運休を伴う遅れが発生し、お客様にご迷惑をお掛けしましたが、それ以外は無く、年間を通し、ほぼ順調な輸送を確保できました。

(4)インシデント(鉄道運転事故が発生する恐れがあると認められる事態)

インシデントの発生はありませんでした。

(5) 行政指導等

国土交通省からの行政指導はありませんでした。

4 輸送の安全確保のための取組み

(1) 重点安全施策(安全関連投資)

2008年度は、高架橋3箇所のコンクリート剥離修繕、通信ケーブルの取替(東一身田～津間)等の各工事を行ったほか、電気転轍器・PC枕木・沿線電話機等の取替や、車両の重要部検査(1両)等の工事を実施しました。また、2009年度につきましても車両の改良更新(2両:ATS-P T型車上装置新設、運転状況記録装置新設等)、枕木交換、三軒屋踏切改良等の安全関連工事を計画しています。



高架橋コンクリート剥離修繕



誘導ブロック新設

同年度に実施を予定していた安全・安定輸送設備の改良工事は、全て計画通り完了しております。今後とも安全の維持・向上に向け、各種設備の整備・改良に積極的に取り組んで参ります。



車両の重要部検査



レール更換作業

(2) 人材教育

当社では、安全目標を確実に達成するための「重点実施項目」を定め、駅（運転指令業務）、機関区（運転士）、工務区等の関係部署が年間計画を策定し、毎月（乗務員・工務関係社員）及び四半期（駅関係社員）毎に訓練会・勉強会を開催して能力・意識の向上を図っております。



(3) 緊急時対応訓練

毎年1回、JR東海と合同で、運転事故や災害等の異常時を想定した訓練を実施しております。2008年度は、駅間で軌道短絡による輸送障害が発生したことを想定し、補助制御盤の取扱い、代用閉そく方式による列車取扱いや、会社間にまたがった情報連絡方等の訓練を実施しました。



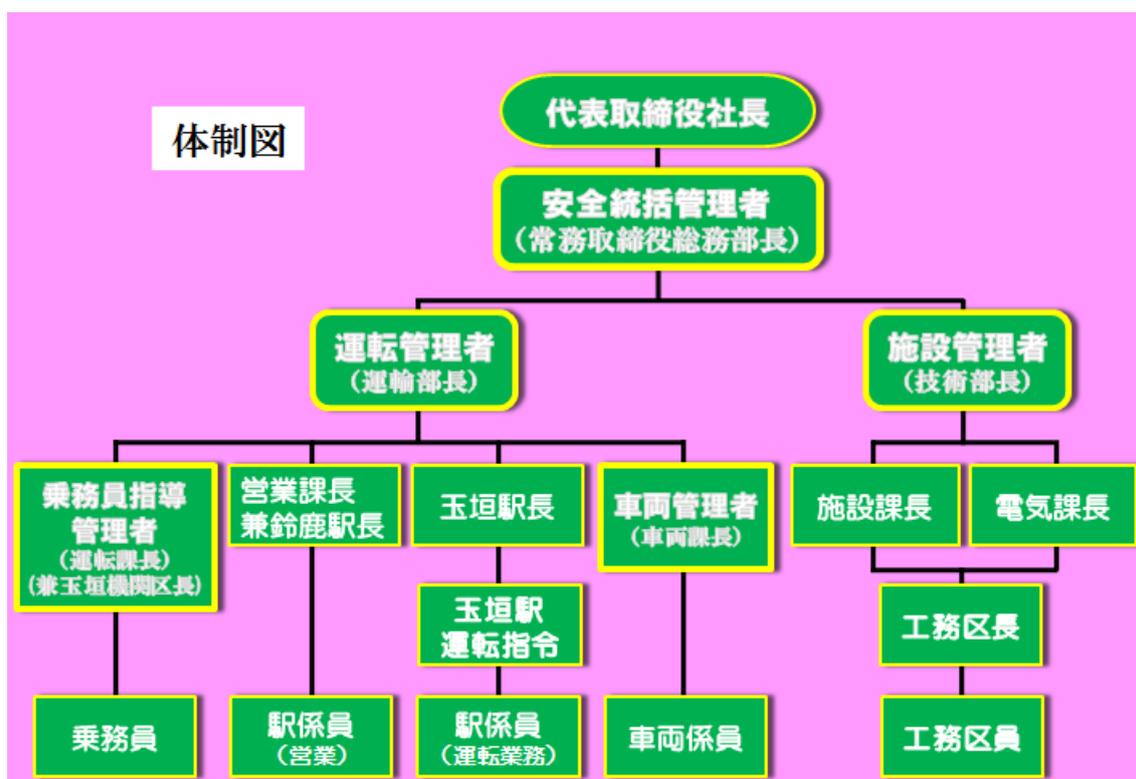
(4) AEDの設置

2008年7月、玉垣駅にAED（自動体外式除細動器）を設置しました。関係する駅社員等は普通救命講習を受講し、対応の万全を期しています。



5 当社の安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしております。また、毎月一回、安全対策会議を開催し「事故の芽を摘む」意識で、過去事例の検証や、「事故のたね」である「ヒヤットした・ハットした」出来事の記録を活用し、現状の問題点の抽出・改善策等を話し合い、安全度の更なる向上に努めております。



役職・役割

役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運 転 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
車 両 管 理 者	運転管理者の指揮の下、車両に関する事項を管理する。
施 設 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。

6 お客様や地元の皆様との連携とお願い

(1)お客様からのご意見

より安全で信頼される鉄道をつくるため、当社ホームページへのメールや電話等によりお寄せ頂いたご意見を役立てております。お気軽に下記連絡先までご意見をお寄せ下さい。

(2)沿線にお住まいの皆様へ

安全な列車運行を行うためには鉄道施設の工事が必要です。

極力、ご迷惑をおかけしないよう努めておりますが、工事による騒音や振動でご不便をおかけすることもあるかと思っております。何卒、ご理解とご協力をお願い致します。

(3)列車妨害防止のお願い

2008年度、線路上への置石等による列車妨害事故の発生は無く、皆様のご協力のお陰と感謝しております。しかしながら、安全に油断は禁物であり、列車脱線事故や列車との触車事故にも直結する非常に危険な行為でありますので、線路付近で遊んでいる児童等を見かけられましたら、線路内へは決して立ち入らないよう、引き続き注意・指導をお願い致します。



踏切啓発活動

7 ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せ下さい。

伊勢鉄道株式会社

TEL 059 - 383 - 2112

(FAX も 同 番 号)

E-mail: anzen@isetetu.co.jp